

12月の例会の報告 (1982.12.18. 明治大1=2)

① 小崎 尚 (明治大): 「ユーラシア大陸の東と西の周氷河地形」

② 小野 有五 (筑波大): 「ネパール、ランタン谷の氷河と地形」

(要旨)

① モスクワでのINQUAに際して行われたヤクーツク地方の巡視、その後に行かれたノルウェー山地、およびアイスランドでの開かれた野外研究集会の紹介があった。

ヤクーツク地方についてはいくつかのサーモカルスト地形やアイスウエッジの興味深いスライドがあり、シベリアの凍土研究所の紹介もなされた。ノルウェー山地について、RudbergとRappの研究のフィールドであった地域が紹介され、アイスランドでは、Thurfurの名があるアース・ハンモックや、パルサとともに、過度の放牧により、乾燥し、風食が拡大したアイスランドの地形の特徴が示された。

② ランタン谷のモレーンのステージング (第1表) と、氷河地形全体についての予察的な報告がなされた。とくに、最も新しい時代には形成された annual moraine について、そのファングリックと、氷河のベータル、テイルのファングリックの調査結果が示され、annual moraine の形成過程が論じられた。

(文責: 小野)

*) 発表の後、スライド大会、忘年会が催された。

第1表 Moraine staging in Langtang Valley

			alt. gl. snout (m)	inferred age (y. B.P.)
stages				
Present			4420	
Little Ice Age			4270	400 - 100
Neoglaciatio	II	Numthang II	3960	2,000 - 1,500
	I	I	3940	3,000
Hypsithermal Interval				8,000 - 4,000
Late-Glacial	III	Chabo	3900	10,000 - 8,000
	II	Marku-Kincorchung	3800	12,000 - 10,000
	I	Kianjing	3600	15,000
Pleni-Glacial	II	Langtang	3400	30,000 - 20,000
	I	Goratabella	2900	50,000 - 40,000
Max. Extension			2500	

——2月例会のお知らせ——

日時：2月12日(土) 15:00 - 17:00

場所：東京大学 地理学教室講義室 (教室は当日掲示致します)

発表者：Dr. Philip Tilley (シドニー大学・地理学教室)

"The Snowy Mts. of Australia and the cryo-nival
subtropics" (通訳付)

④事務局より——

会費の納入を本願いたします。

現在、会計は赤字状態です。'82年度会費(1000円)未納の方へ至急事

務局まで納入して下さい。切手1000円分でも可なりです。

問合せ Tel. 0298-53-4303 (小野)
53-6853 (渡辺)